



朝一小だより

活気があふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel.048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和8年2月1日

児童数 613名



幸せになるために必要な力とは

校長 金子 二郎

大寒も過ぎ、一年で最も寒さが厳しい時期を迎えております。関東地方では乾燥した天候が続き、依然として感染症の拡大も心配されますが、その一方で各地から山火事が報告され、被害に遭われた方に思いを馳せるとともに、これだけ科学技術の発達した時代であっても自然の猛威の前に有効な手が打てないことに驚いています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。



朝、東の空が茜色に染まる頃合いが徐々に早くなりつつあります。また、注意深く校地内の木々に目を向



けると蕾が膨らんでいるものも見られ、ゆっくりではありますが確実に春を迎える準備が進んでいるのもわかります。間もなく立春となります。寒さを乗り越えた先には春が待っていることと思いつつ、健やかに過ごしていただけると存じます。

さて、広く社会に目を向けると年が改まる前後から、子供たちにとって明るい春を想像することが難しくなるような事件や事故が起こっています。周囲の助けがなければ生きながらえることすらできないような幼い子の命を家族が奪ったり、子供同士のトラブルを撮影した動画がネット上で共有されたことで、未成年である当事者たちが心から反省したとしても当たり前を取り戻すことのできない状況になったり、以前では考えられなかった出来事が連日のように報道されています。他者とのコミュニケーションを保つことがとても重要であるのに、ますます困難を伴うことになっているのではとも胸を痛めます。「岩波書店編集部による「私の戦後80年、そしてこれからのために」」の中で、音楽家で文筆家でもある寺尾紗穂さんは次のように寄稿しています。「私は最近バルセロナの街づくりの現場から生み出された『反うわさ戦略』というのを知りました。移民が増えたバルセロナで、反移民を叫ぶヘイトや誤解の広まりに対処した、その方法論です。具体的には人との会話の中で、デマやヘイトに出会ったときに丁寧な訂正ができる人材を講座で養成するというものです。バルセロナでは1200人の人材を育成して自治体職員も巻き込み、効果をだしたそうですが、印象的だったのは、ネットでの個別のヘイト対応はしないというものでした。対面で相手の表情や声色を感じることが、人が合意や妥協、考えの転換に至るために重要な要素なのだと改めて思いました。対話は対面で丁寧に、適切な情報発信自体はネットで続けていく。そうした両輪で進むイメージを持つことができました。」誰もがAIやSNSを当たり前のように使う現代、むしろ直接的な対話を通して互いに真意を汲み取ることの大切さに気付くことも少なくありません。子供たちが自らの手で正しい情報を手に入れることができる力を、周りの大人の手で身に付けさせていくという責任の重さを改めて痛感しています。



「私は最近バルセロナの街づくりの現場から生み出された『反うわさ戦略』というのを知りました。移民が増えたバルセロナで、反移民を叫ぶヘイトや誤解の広まりに対処した、その方法論です。具体的には人との会話の中で、デマやヘイトに出会ったときに丁寧な訂正ができる人材を講座で養成するというものです。バルセロナでは1200人の人材を育成して自治体職員も巻き込み、効果をだしたそうですが、印象的

だったのは、ネットでの個別のヘイト対応はしないというものでした。対面で相手の表情や声色を感じることが、人が合意や妥協、考えの転換に至るために重要な要素なのだと思ったりしました。対話は対面で丁寧に、適切な情報発信自体はネットで続けていく。そうした両輪で進むイメージを持つことができました。」誰もがAIやSNSを当たり前のように使う現代、むしろ直接的な対話を通して互いに真意を汲み取ることの大切さに気付くことも少なくありません。子供たちが自らの手で正しい情報を手に入れることができる力を、周りの大人の手で身に付けさせていくという責任の重さを改めて痛感しています。



コミュニケーションを取るフリをしてるだけなら、コミュニケーションなんて必要ない (有吉弘行)